

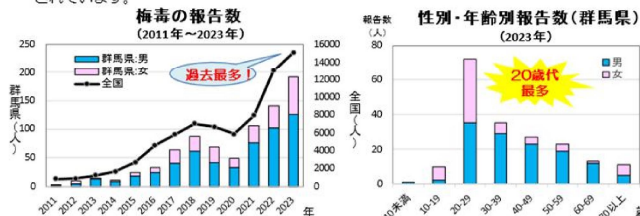
6 群馬県感染症情報—トピックス—

群馬県感染症情報 —トピックス— (2024年, No.1)

発行: 令和6(2024)年1月30日

1年間の梅毒の報告数が過去最多でした

- 群馬県では2023年に192件の報告がありました。
- これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降、最多の報告数です。
- 全国的にも増加傾向が見られ、2023年は過去最多の報告数になりました。
- 2023年の群馬県の報告は男性が66%を占めており、20歳代では男女ともに多く報告されています。

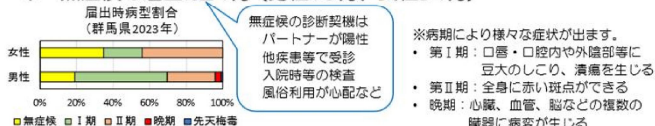


◆ 予防や対策は？

- 不特定多数の相手との性行為は感染する(または感染させる)リスクが高くなるので、避けましょう。
- コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。

※詳しくは「梅毒に関するQ&A」(厚生労働省ホームページ)をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

◆ 無症候の届出が24% (男性19%、女性34%)



※無症候により様々な症状が出ます。

- 第Ⅰ期: 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる
- 第Ⅱ期: 全身に赤い斑点ができる
- 晩期: 心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

保健所では性感染症の相談・検査を無料・匿名で行っています

保健所(県保健福祉事務所、市保健所)までお問合せください

- ◆ 県内の保健所では梅毒の即日検査を行っています。

事前予約が必要です。検査のWeb予約も可能です。

- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。<https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigy-c@pref.gunma.lg.jp

群馬県感染症情報 —トピックス— (2024年, No.2)

発行: 令和6(2024)年2月27日

3月1日～7日は、子ども予防接種週間です!

お子さまの入園、入学などに備えて、必要な予防接種を受けましょう。
 特に、麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)の第2期を忘れずに!
 ※予防接種はお子さまの体調が良いときに行いましょう。



◆ 麻しん・風しんは定期接種です! (以下の方は無料で受けられます)

- 第1期: 1歳児
- 第2期: 小学校入学前1年間の幼児(平成9年4月2日～平成30年4月1日生まれ)
 ※無料で接種を受けられる期間が残り1か月3月31日までです。

※まだ受けていない方はかかりつけの医師や、市町村の予防接種担当窓口にご相談ください。

◆ 小学校入学前の定期接種(令和6年2月27日現在)

対象年齢の期間は予防接種を無料で受けられます。
 ※ただし、病気がかかやすい時期を考慮した上で定められる接種期間(標準的な接種期間)での接種が勧奨されています



ワクチン名	対象年齢	回数
ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ混合(4種混合: DPT-IPV)	生後2月から90月に至るまで(第1期) (令和6年4月1日から5種混合ワクチン※1の定期接種が開始されます)	4回
麻しん・風しん混合(MRワクチン)	①生後12月から24月に至るまで ②5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間	2回
日本脳炎	生後6月から90月に至るまで(第1期)	3回
BCG(結核)	1歳に至るまで	1回
インフルエンザ菌b型(Hib)	生後2月から60月に至るまで (令和6年4月1日から5種混合ワクチン※1でも接種可能になります)	4回※2
小児肺炎球菌	生後2月から60月に至るまで	4回※2
水痘	生後12月から36月に至るまで	2回
B型肝炎	1歳に至るまで	3回
ロタウイルス※3	生後6週から24週に至るまで 生後6週から32週に至るまで	2回 3回

※1 4種混合ワクチン+インフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン
 ※2 接種開始時期により接種回数が変わります
 ※3 ワクチンの種類により接種期間・回数が変わります

【予防接種に関する情報】

詳しい情報や市町村の問い合わせ窓口については群馬県ホームページをご覧ください。

★詳しい情報ははこちら(群馬県ホームページ) 匿名・診療(予防接種):
<https://www.pref.gunma.jp/page/1734.html>



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigy-c@pref.gunma.lg.jp

群馬県感染症情報 —トピックス— (2024年, No.3)

発行: 令和6(2024)年3月19日

国内で麻しん(はしか)の感染事例が増えています

2024年1月1日から3月10日まで、全国で11名の麻しん患者が報告されています。
 (群馬県では3月19日現在まで、麻しん患者の報告はありません)

◆ どんな病気?

麻しんのウイルスによって引き起こされる感染症です。
 近年、感染者は子供よりも成人に多い傾向があります。
感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。

感染経路: 空気感染(手洗い・市販のマスクで予防できない)、飛沫感染、接触感染
 潜伏期間: 約10～12日間。発症前1～2日から発しん出現後4～5日までは周囲に感染させるおそれがあります。

症状: 高熱、発しん、せき、鼻水、目の充血など
 合併症: 肺炎、中耳炎、まれに脳炎など、最悪の場合死に至ることもあります。
 こくまれに麻しんにかかってから7～10年後に知能障害や運動障害を引き起こし死に至る「亜急性硬化性全脳炎」を発症することもあります。

◆ 予防方法は?

2回の予防接種で免疫をつけることが有効な予防方法です。

定期接種の対象者は予防接種をおすすめしています。

また、予防接種歴のない方、あるいは海外に行く方で2回接種をしていない場合は抗体検査を検討してください。

※1歳児と小学校入学前の1年間(定期予防接種対象者)は無料で予防接種を受けられます。
 ※定期接種対象外でも、麻しんにかかったことがない、予防接種を受けたことがないという場合は、自費で抗体検査・予防接種を受けることができます。
 かかりつけ医にご相談ください。

!! 麻しんを疑う症状が出たら!!

- 医療機関を受診する場合は、必ず事前に電話をして受診方法を確認し、指示に従って受診しましょう。
- 受診の際は、公共交通機関の利用は避けましょう。
- 他の人に感染させないよう、不要不急の外出は避けましょう。

★麻しんについての詳しい情報ははこちら
 (群馬県ホームページ: 麻しん(はしか)に注意しましょう)
<https://www.pref.gunma.jp/page/3309.html>



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigy-c@pref.gunma.lg.jp

群馬県感染症情報 —トピックス— (2024年, No.4)

発行: 令和6(2024)年3月26日

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が過去最多!

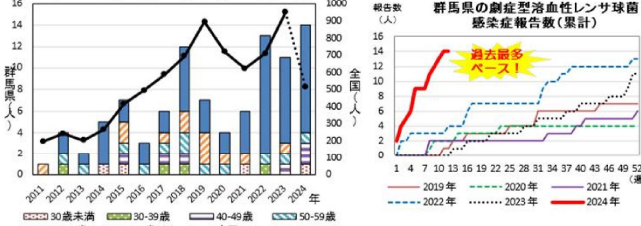
◆ 今流行っているの?

- 群馬県では2024年第12週(～3月24日)までに14件の報告があり、感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった2022年の報告数(13件)を上回りました。
- 全国的にも、2022年以降増加傾向にあります。



劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数

(2011年～2024年第12週まで ※全国は2024年第11週まで)



◆ どんな病気? ※5類定点把握疾患の「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」とは区別されます。

- 病原体: 主にA群溶血性レンサ球菌
- 年齢層: 子ども～大人(特に30歳以上で多い)
- 感染経路: 患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」
 細菌が付着した手で口や鼻(または傷口)に触れることによる「接触感染(創傷感染)」
- 症状: 手足の痛みや腫れ、発熱、のどの痛み、血圧低下など。
発病から病状の進行が急激かつ劇症、数時間以内に軟部組織壊死、急性腎不全、多臓器不全などを引き起こし、死に至ることも多い。

◆ 予防方法は?

- 石けんと流水による手洗いを行う。
- マスクを着用する。
- 傷を清潔に保ち、傷周りの赤みや腫れ、痛み、発熱など、感染の兆候がみられたら、直ちに医療機関を受診する。



★群馬県において報告された全数把握感染症一覧(報告件数)はこちら
<https://www.pref.gunma.jp/page/3303.htm>



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigy-c@pref.gunma.lg.jp

ゴールデンウィークに 渡航される皆さまへ!



海外には日本にない病気がたくさんあります。安全で快適な旅行にするために、海外で注意すべき感染症をお知らせします。

★ 出発前

渡航前に旅行している感染症などを確認しておきましょう。
厚生労働省検疫所サイト「FORTH」には、海外の感染症の最新の流行状況や予防方法、必要なワクチンなどの情報が載っていますのでご利用ください。



FORTHサイト <https://www.forth.go.jp/index.html>

★ 旅行中

特に食べ物や水を介した消化器系の感染症のほか蚊やマダニ、動物などが媒介する感染症には注意が必要です。
また、人から人に広がる感染力の強い感染症が流行・発生している地域があることにも注意してください。

麻疹(はしか)、風しん(三日はしか)に注意しましょう!

- 海外で感染して日本国内へ持ち込み、感染が広がる事例が多く報告されています。
- 感染予防には、2回の予防接種が有効です。2回接種歴がない方は、渡航前に医療機関にご相談の上、まずは抗体検査をご検討ください。

食べ物や水からうつる感染症

- E型肝炎、A型肝炎、赤痢、腸チフス、コレラなど
- 上下水道やトイレの整備が不十分な地域では、水や食品が病原体に汚染されていることがあります。
- 生水を飲まないようにしましょう。水や生野菜、カットフルーツは避けましょう。
- 生鮮魚介類や生肉などは食べずに、十分に加熱された物を食べましょう。



蚊やマダニが媒介する感染症

- マラリア、デング熱、シカウイルス感染症、チクングニア熱、黄熱、ウエストナイル熱、ダニ媒介脳炎など
- 野外活動の際には、長袖・長ズボンを着用するなどして肌の露出は避け、虫除け剤を使用するなど注意をしましょう。



動物からうつる感染症

- 鳥インフルエンザ、狂犬病、MERSなど
- 野生動物や家畜は、危険な感染症の病原体を持っている可能性があります。
- 海外では、むやみに動物に触らないようにしましょう。



★ 帰宅後

具合が悪くなったなら早めに医療機関を受診し、海外に渡航したことや渡航先などの情報を必ず伝えてください。



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター (群馬県衛生環境研究所)

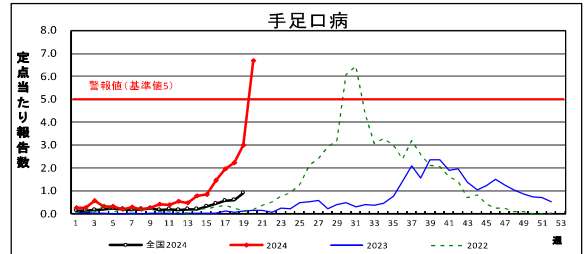
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp

手足口病の警報が発令されました!

◆ 最新の流行状況 《2024年第20週 (5月13日~5月19日) 現在》

- 県全体の定点当たり報告数は6.67となり警報開始基準値を越えました。
- 特に報告の多い地域は、富岡地域(25.50)、茨いで、伊勢崎地域(13.00)、高崎市(10.44)です。
- 県内では2022年8月上旬に警報を発令しましたが、昨年は大きな流行がありませんでした。また、例年よりも流行時期が早くなっています。

※ () 内: 定点当たり報告数 (人)、1医療機関あたりの患者報告数のこと。



◆ どんな病気?

- コクサッキーウイルスA6、A16型やエントロウイルスA71型などを原因とする感染症です。
- 夏かぜの一種であり、手・足・口腔内・口唇にできる小さい水疱性の発疹と発熱が主な症状です。
- 感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染 (便に排出されたウイルスが口に入って感染すること) です。

手足口病地域別報告状況



定点当たり患者報告数(人)
 ~ 0.9
 1.0 ~ 2.9
 3.0 ~ 4.9
 5.0 ~

(第20週現在)

◆ 予防方法は?

- 原因となるウイルスはアルコールが効きにくいので、特にトイレのあとや排泄物を処理したあとには、手を石けんと流水でよく洗いましょう。
- 咳エチケットを守り、症状がある場合はマスクをつけましょう。
- 症状があるときには、医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。

群馬県ホームページ「感染症情報」もご覧ください!

▼「手足口病」について <https://www.pref.gunma.jp/page/3311.html>



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp



6月1日~7日はHIV検査普及週間です

あなた自身の健康と、家族・パートナーの感染予防のため
検査を受けましょう!

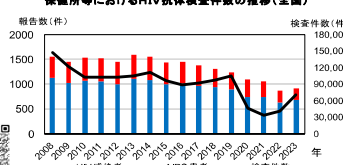
◆ HIV / AIDSとは

- HIVは、「ヒト免疫不全ウイルス」のことで、ヒトの免疫細胞に感染するウイルスです。限られた経路(性行為、血液感染、母子感染)でのみ感染します。
- AIDS(エイズ)は、HIVによって引き起こされる病気の総称で、「後天性免疫不全症候群」といいます。
- 性感染症に感染していると、AIDSの原因ウイルスであるHIVに感染しやすくなります。
- 早期発見、早期治療により、AIDS発症を予防することが可能です。

◆ HIV / AIDSの現状

- 令和5年(2023年)の全国の検査数は前年より増加しました。
- 全国の新規HIV感染者及び新規AIDS患者報告数も前年より増加しました。

HIV感染者及びAIDS患者報告数と
保健所等におけるHIV抗体検査件数の推移(全国)



● エイズの詳細情報・群馬県の状況はこちら
<https://www.pref.gunma.jp/page/642466.html>



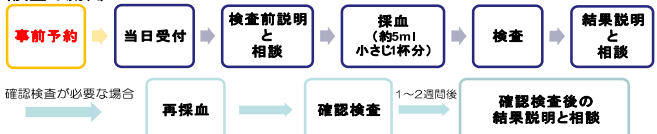
厚生労働省エイズ動向委員会資料より

★HIV / AIDS及び性感染症に関する相談・検査は、

無料・匿名で受けられます。

相談内容・検査結果について、秘密は厳守されており、プライバシーは守られます

〈検査の流れ〉



★Webからも予約ができます。

- HIV・性感染症検査のWeb予約について <https://www.pref.gunma.jp/page/213495.html>



検査に関する詳細は、保健所までお問い合わせください。

● 検査に関する情報 <https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp

子どもの夏かぜに注意!

◆ 夏かぜとは? ...夏に子どもを中心に患者数が増える感染症の総称です。

例年5~6月に流行が始まり、7~8月にピークを迎えます。

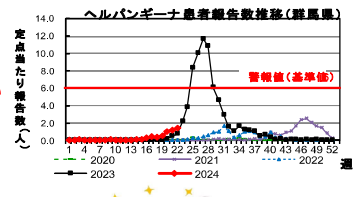
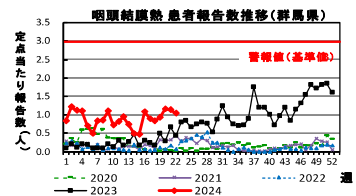
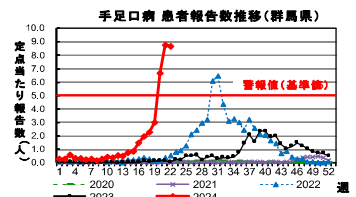


- 手足口病: 口の中や手足などに水疱性の発疹が出る。発熱しても高熱は続かない。大人が感染すると痛みが強く出ることが多い。
- 咽頭結膜熱: 高熱(38~39℃)・咽頭炎・結膜炎などが主症状。高熱は比較的長く続くことがある。
- ヘルパンギーナ: 突然の高熱(38~40℃)と咽頭痛が主症状。口の中に水疱ができ、痛みで食欲不振になることがある。

◆ 県内の現在の流行状況

手足口病の患者数の増加が例年より早く、全国平均よりも報告数が多くなっています。県内では警報発令中です。

咽頭結膜熱についても、一部の地域では警報値を超えています。



◆ 感染経路・予防法

- 〔感染経路〕
- くしゃみなどの際に出る飛沫による飛沫感染
- 水疱の内容物や便に排出されたウイルスを手を介して、口や眼に入る経口感染・接触感染

- 〔予防法〕
- 原因ウイルスはアルコール消毒が効きにくいので、手指は、石けんと流水でよく洗う
- 特にトイレやおむつ交換の後には、しっかりと手洗いをします。
- タオルの共用はしない。症状がある人は自宅でもタオルなどを共用しない。
- 咳エチケットを守り、症状がある場合はマスクをつける。

症状があるときには?

- 医療機関を受診し医師の指示に従ってください。
- 水分と十分な休息を取りましょう。

★感染症の詳しい情報(群馬県感染症情報)

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター (群馬県衛生環境研究所)

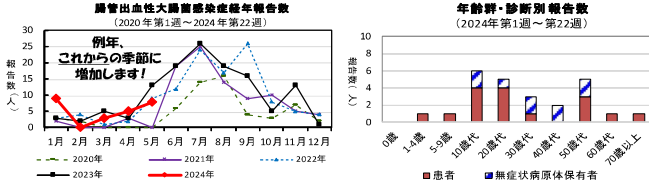
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp

腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう!



◆ 群馬県の流行状況

2024年は第22週までに25件の報告がありました。(昨年同時期: 27件)
例年、気温の高い初夏から秋にかけて多く報告されています。



◆ どんな病気?

毒素を産生する腸管出血性大腸菌(O157など)によって引き起こされる感染症です。少ない量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがあります。抵抗力の弱い高齢者や乳幼児が感染すると、重症化することもあります。

- 感染経路: 経口感染(汚染された飲食物を口にし、患者の便を介することで感染。無症状者から他人へ感染させてしまうこともある)

- 潜伏期間: 多くは3~5日
- 症状: 下痢、腹痛、血便、発熱(無症状の場合もある)

◆ 予防するには?

- 石けんと流水による手洗いを徹底する。
- 生野菜や果物はよく洗って食べる。
- 箸やまな板などは、生肉用と生肉以外用とで使い分けようにする。
- 肉の生食は避け、中心が白くなるまで十分に加熱調理(75度で1分以上)して食べる。
- 調理器具の洗浄と熱湯や次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒を行う。

◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛などの症状がある人は、速やかに医療機関を受診する。
- 症状のある人は家族と一緒に入浴せず、最後に入るシャワーやかけ湯がよいが浴槽に入る場合は石けんで体を洗ってから入り、入浴後は水を抜いて浴槽を洗う。また、バスタオルの共用は避ける。
- 症状のある人の下着は、塩素系漂白剤でつけ置き消毒、家族のものとは分けて洗濯し、洗濯後は、ゴミ取りネットの掃除を忘れずに行う。
- トイレやおむつ交換のあとは必ず手を洗う。

★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>

* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

夏休みに海外へ 渡航される皆さまへ!



海外には日本にない病気がたくさんあります。安全で快適な旅行にするために、海外で注意すべき感染症をお知らせします。

1. 出発前に…渡航先で流行している感染症などの確認を

厚生労働省検疫所サイト「FORTH」には、海外の感染症の最新の流行状況や予防方法、必要なワクチンなどの情報が載っていますのでご利用ください。(FORTHサイト: <https://www.forth.go.jp/index.html>)



FORTHサイト

2. 旅行中に注意すべきこと

食べ物や水を通じた消化器系の感染症や蚊やマダニ、動物などが媒介する感染症には特に注意が必要です。
また、人から人に広がる感染力の強い感染症が流行・発生している地域があることに注意してください。

食べ物や水からうつる感染症

E型肝炎、A型肝炎、赤痢、腸チフス、コレラなど

- 上下水道やトイレの整備が不十分な地域では、水や食品が病原体に汚染されていることがあります。
- 生水を飲まないようにしましょう。氷や生野菜、カットフルーツは避けましょう。
- 生鮮魚介類や生肉などは食べずに、十分に加熱された物を食べましょう。



蚊やマダニが媒介する感染症

マラリア、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、黄熱、ウエストナイル熱、ダニ媒介感染症など

- 野外活動の際には、長袖・長ズボンを着用するなどして肌の露出は避け、虫除け剤を使用するなど注意をしましょう。



動物からうつる感染症

鳥インフルエンザ、狂犬病、MERSなど

- 野生動物や家畜は、危険な感染症の病原体を持っている可能性があります。
- 海外では、むやみに動物に触らないようにしましょう。



人からうつる感染症

麻疹、風しん、新型コロナウイルス感染症、エムボックスなど

- 咳やくしゃみでうつる病気がはやっていてる地域では人ごみに近寄らないようにしましょう。
- 性感染症にかかることもあるので、ハイリスクな性行為は避けましょう。



3. 帰国時・帰国後の健康チェック

海外で感染して日本国内へ持ち込み、感染が広がる事例が報告されています。具合が悪くなったなら早めに医療機関を受診し、海外に渡航したことや渡航先などの情報を必ず伝えてください。



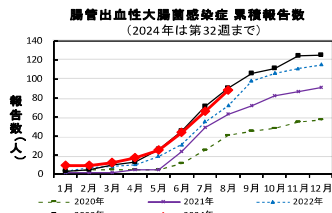
* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

腸管出血性大腸菌感染症 の届出が増加しています!



◆ 群馬県の流行状況

- 2024年は第32週までに88件の報告がありました。(昨年同時期: 74件)
- 例年、気温の高い初夏から秋にかけて多く報告されています。
- 多くは6月の下旬頃から患者数が増加し、現在も報告数が多い状態が続いています。



◆ どんな病気?

毒素を産生する腸管出血性大腸菌(O157など)によって引き起こされる感染症です。感染した人の糞便中に腸管出血性大腸菌が含まれており、少ない量でも感染し、発症するため、家族内や集団生活の中で感染が拡大することがあります。

感染経路: 食べ物や手についた菌が口に入ることで感染。
無症状者から他人へ感染させてしまうこともある。

症状: 腹痛、下痢、血便、発熱
抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症化することもある
(無症状の場合であっても、糞便中に菌が出ていることもあるので注意)

◆ 予防するには?

- 石けんと流水による手洗いを徹底する。
- 生野菜はよく洗って食べる。
- 箸やまな板などは、生肉用と生肉以外用とで使い分けようにする。
- 生肉は果物やサラダ等生で食べるものや調理のすんだ食品に触れないようにする。
- 肉の生食は避け、中心が白くなるまで十分に加熱調理(75度で1分以上)して食べる。
- 調理器具の洗浄と消毒をしっかりと行う。

◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛などの症状がある人は、速やかに医療機関を受診する。
- 症状のある人は家族と一緒に入浴せず、最後に入るシャワーやかけ湯がよいが浴槽に入る場合は石けんで体を洗ってから入り、入浴後は水を抜いて浴槽を洗う。
- 症状のある人の下着は、塩素系漂白剤でつけ置き消毒、家族のものとは分けて洗濯し、洗濯後は、ゴミ取りネットの掃除を忘れずに行う。
- トイレやおむつ交換のあとは必ず手を洗う。

★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>

* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

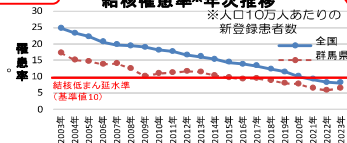
9月24日~9月30日は、 結核・呼吸器感染症予防週間です!

結核はまだ身近な病気です

◆ 発生状況

- 群馬県では、2023年に122人の患者が新たに登録されました(前年より10人増)。
- 年齢別では65歳以上が約半数を占め、依然として高齢者が多い傾向にあります。

結核罹患率*年次推移



◆ どんな病気?

- 結核が進行すると、咳やくしゃみのしぶきと一緒に結核菌が空気中へ飛び散り、周りの人が吸い込むことで感染が広がります(空気感染)。
- 発病するのは感染者のうちの2割程度で、多くの人は免疫の働きによって発病しません。しかし、加齢や病気などで免疫力が落ちると結核菌が再び活動を始め、発病しやすくなります。

◆ 決められた期間きちんと薬を飲み続ければ治ります!

- 結核の症状には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いです。咳や痰、発熱、体のだるさなどが2週間以上続く場合には、早めに医療機関を受診しましょう。
- 事業所、学校、施設などで実施される結核健康診断(胸部レントゲン検査)を受けましょう。*65歳以上の方は、年1回の結核健康診断が義務付けられています(無料)。

★ 詳しい情報はこちら(結核について) → <https://www.pref.gunma.jp/page/3321.html>



予防しよう 身近な呼吸器感染症

◆ どんな病気?

- 呼吸器感染症には、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎、マイコプラズマ肺炎などがあります。

◆ 対策の基本は、手洗い・咳エチケット・換気です!

- 帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。手指消毒も有効です。
- 感染を広げないために、咳やくしゃみをするときにはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆い、手で覆った場合は手を洗いましょう。
- 高齢の方や基礎疾患のある方は重症化の可能性があるので、予防接種を検討しましょう。★市町村の問い合わせ窓口など詳しい情報はこちら(医療・健康「予防接種」) → <https://www.pref.gunma.jp/page/1734.html>



* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症対策センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

日本脳炎に注意!

近県にて日本脳炎の患者報告がありました。
まだ蚊の多い時期が続きますので、注意しましょう。

◆どんな病気?

- 病原体: 日本脳炎ウイルス
- 感染経路: ウイルスに感染したブタを吸血した蚊(コガタアカイエカ)に刺されることにより感染します。
(人から人への感染はありません。また、豚肉を食べても感染することはありません)
- 潜伏期間: 6~16日
- 症状: 突然の高熱、頭痛、嘔吐、意識障害や麻痺などの神経障害
ほとんどの人は感染しても気づかない程度の軽症、もしくは無症状で経過しますが、およそ1000人に1人が発症し、後遺症を残すことや死に至ることもあります。

◆群馬県の状況

毎年群馬県では感染症流行予測調査事業の中で、日本脳炎ウイルスに感染したブタがいるかどうかの調査を行っています。
昨年の調査ではウイルスに直近で感染していたブタが確認されており、群馬県内でも日本脳炎ウイルスに感染する可能性があると考えられます。

★群馬県感染症流行予測調査の結果についてはこちら
→<https://www.pref.gunma.jp/page/19709.html>

◆予防方法は?

- 予防接種で免疫をつけることが有効な予防方法です。
- 予防接種により発症リスクを75~95%減らすことができると言われています。
- コガタアカイエカは、水田のある地域に多く発生し、日没後に活動が活発になります。長袖・長ズボンを着る、虫よけスプレーを使用するなどの対策をしましょう。
- 家の中へ蚊が入らないように窓や扉の隙間をなくし、網戸や蚊取り線香などを使用して蚊の侵入を防ぎましょう。

※定期予防接種対象者は無料で予防接種を受けることができます。

(第1期: 初回接種は3歳~4歳の間に2回、初回接種の2回目終了後概ね1年の間隔を置いて1回接種
第2期: 9歳~10歳の間に1回接種)
※日本脳炎が流行している地域へ渡航を予定している場合は、自費での接種が可能です。かかりつけ医にご相談ください。

★予防接種に関する市町村の問い合わせ窓口など詳しい情報は
こちら→<https://www.pref.gunma.jp/page/1734.html>

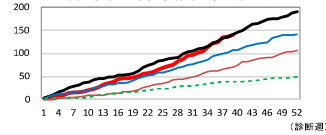
*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

梅毒の報告が増加しています!

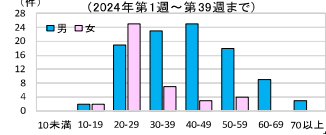
◆今流行っているの?

- 群馬県では2024年第39週(~9月29日)までに140件の報告がありました。これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった昨年の同時期(140件)と同様の報告数です。

群馬県の梅毒報告数(累計)



報告数 梅毒 性別・年齢別報告数(群馬県)



男性が約7割
女性は20歳代の報告が多い

◆どんな病気?

- 梅毒トスピネマという病原菌による感染症。
- 早期治療で完治可能だが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがある。
- 妊婦が感染すると流産・死産となる場合や、子どもが梅毒に感染した状態で生まれる(先天梅毒)可能性がある。

【感染経路】性的接触等

【潜伏期間】3~6週間

【症状の経過】

第Ⅰ期: (約3週間後) 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる

第Ⅱ期: (約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる

晩期: (数年後) 心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

【予防と対策】

- 性行為のときは、必ずコンドームを正しく使用する(同性間でも必要)。
- 不特定のひととの性行為を避ける。

※詳しくは厚生労働省ホームページ「梅毒に関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/syphilis_qa.html

◆症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう!

保健所では性感染症の相談・検査を無料・匿名で行っています

保健所(県保健福祉事務所、市保健所)までお問合せください

- ◆県保健福祉事務所では梅毒の即日検査を行っています。

- ◆詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。<https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

秋の行楽シーズン「ダニ」に注意!

やっと涼しさが顔を覗かせてきたこの季節、キャンプやハイキング、農作業など、山や草木の多い場所で活動する機会が多くなってきます。
野山に生息しているダニは、「つつが虫病」「日本紅斑熱」「重症熱性血小板減少症候群」「ダニ媒介脳炎」「ライム病」などの原因となる病原体を持っていることがあり、咬まれるとダニ媒介感染症にかかる恐れがあります。

◆どんな病気?

- つつが虫病
- 感染経路: 経皮感染(病原体を持つツツガムシの幼虫に刺されることで感染)
- 潜伏期間: 5~14日
- 症状: 全身倦怠感、頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発しんなど

日本紅斑熱

- 感染経路: 経皮感染(病原体を持つマダニに刺されることで感染)
- 潜伏期間: 2~8日
- 症状: 頭痛、発熱、倦怠感、発しんなど

◇ダニ媒介感染症について詳しくはこちら <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.h>

◆群馬県内の発生状況

- つつが虫病は例年10~20例程度の報告があります。(2024年第42週現在の報告数は3件です)
- 2024年第42週に2018年以来2回目の日本紅斑熱の報告がありました。
- ◇群馬県内の発生状況について詳細はこちら <https://www.pref.gunma.jp/page/663716.html>

◆予防方法

屋外レジャー・農作業など外で活動する時は、ダニに咬まれないよう対策をしましょう。

- 肌の露出を少なくする
→長袖・長ズボン、帽子、手袋、足を完全に覆う靴を着用し、首にはタオルなどを巻く
- ダニが入り込むような隙間を作らない
→シャツの袖は手袋の中、裾はズボンの中、ズボンの裾は靴下の中に入れる
- 防虫スプレーを使用する
- 草の上に服やタオルを置かない。また、草の上に腰をおろさない。
- 草の多い場所で着用していた服は屋内に持ち込まない
- 屋外活動後は、すぐに入浴・着替える。
- ダニに咬まれていないかを確認する。

◆症状が出たら

- 早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1~2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。
- その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出ましょう。

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

小学校入学前に!
麻しん(はしか)・風しんの予防接種を受けましょう

来年度小学校に入学するお子さんは麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)を令和7(2025)年3月末まで無料で接種ができます。

◆麻しん・風しんとは?

- 麻しん(はしか)…麻しんウイルスによって引き起こされる感染症
感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。
感染経路: 空気感染(手洗い・マスクで予防できない)、飛沫感染、接触感染
症状: 39℃以上の高熱・咳・鼻水などの風邪症状、発しん
合併症: 肺炎、中耳炎、まれに脳炎など。最悪の場合死に至ることもあります。

- 風しん…風しんウイルスによって引き起こされる感染症

感染経路: 飛沫感染、接触感染
症状: 発熱、発しん、リンパ節の腫れ
合併症: まれに脳炎、血小板減少性紫斑病など

◆麻しん・風しんは2回のワクチン接種で予防できます!

- 麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)の定期予防接種対象者
- ・第1期: 1歳児
- ・第2期: 小学校入学前1年間の幼児

(平成30(2018)年4月2日~平成31(2019)年4月1日生まれ)

- 2回接種する目的
- ・1回の接種で免疫がなかった子どもたちに免疫を与えること
- ・1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、時間の経過とともにその免疫が減衰した人たちの免疫を強化すること

- ・そのほか、未接種の予防接種がある場合は、かかりつけ医や市町村にご相談ください。

※定期予防接種とは...

予防接種法に基づいて接種回数や接種時期を定め、市区町村が実施する予防接種です。予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。小さなお子さんがいるご家庭では、お子さんの予防接種の時期を確認し、時期を逃さず予防接種を受けさせましょう。

【予防接種に関する情報】

詳しい情報や市町村の問い合わせ窓口については群馬県ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/1734.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症制御センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

昭和37(1962)年4月2日から
昭和54(1979)年4月1日生まれの男性の皆様へ

風しんの抗体検査・予防接種の 無料クーポンを今すぐ使いましょう!

- ・昭和37(1962)年4月2日から昭和54(1979)年4月1日生まれの男性は、過去に公的な接種が行われていないため他の世代に比べ抗体保有率が低くなっています
- ・自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまう恐れがあります。(2013年の流行時には職場での集団感染が多発しました)
- ・妊娠初期の妊婦さんが風しんに感染すると、**生まれてくる子どもに白内障、心疾患、難聴**などの障害が起こる可能性があります。(先天性風しん症候群)
- ・お住まいの市町村から送付されているクーポン券を使えば、**無料で**抗体検査と予防接種が受けられます。

★あなたと、これから生まれてくる子どもたちを
風しんから守るため、まずは検査を受けましょう!

- ◆風しんとは?…風しんウイルスによって引き起こされる感染症
1人の風しん患者から5〜7人にうつす強い感染力を有する
(風しんへの免疫がない集団の場合)

感染経路: 飛沫感染、接触感染
症状: 発熱、発しん、リンパ節の腫れ
合併症: まれに脳炎、血小板減少性紫斑病など

★ワクチン接種が最も有効な予防方法です。

●抗体検査・予防接種の流れ

クーポン券が届く → 抗体検査を受ける → 抗体がない場合 → 予防接種を受ける

- ・無料で抗体検査や予防接種を受けられる期間は、**令和6(2024)年度末まで**です。
クーポンの有効期限は市町村によって異なる場合がありますで、お早めにお住まいの市町村へお問い合わせください。
- ・**無料クーポン券がお手元になければ、お住まいの市町村へお問い合わせください。**

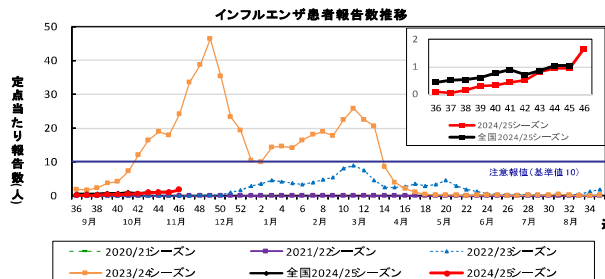
成人男性に対する風しん抗体検査・予防接種の無料化について
(群馬県ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/page/2632.htm>)

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

インフルエンザが流行シーズンに入りました!

◆県内の最新の流行状況 2024年第46週 (11月11日~11月17日)

- ・県全体で1医療機関当たりの患者報告数が1.65となり、流行開始の目安(基準値1.00)を上回りました。
- ・地域別では、利根沼田地域(5.00)、太田地域(3.30)、藤岡地域・安中地域(2.33)などから多くの報告がありました。
※()内: 定点当たり報告数(人)、1医療機関当たりの患者報告数のこと。
- ・定点医療機関からの報告では、A型が流行しています。
- ・インフルエンザ様疾患による学校の臨時休業(学級閉鎖等)は10月以降報告されています。



◆かからないためには?

- ・帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。
- ・できるだけ人混みを避けましょう。
- ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- ・こまめに換気をしましょう

◆うつさないためには?

- ・くしゃみや咳が出るときは咳エチケットを心がけましょう
 - ・マスクをつける
 - ・鼻と口をティッシュペーパーで覆う
 - ・袖や上着の内側で覆う
 - ・マスクをしていても顔は人からそむける
- ・手で覆って咳やくしゃみをした場合は手を洗いましょう

★県内のインフルエンザの詳細情報はこちら <https://www.pref.gunma.jp/page/3297.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

12月1日は世界エイズデーです

「U=U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。」

『U=U』とは…

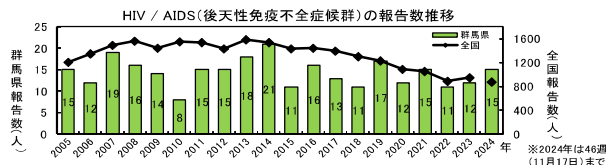
HIV治療を受け、血液中のウイルス量が検出できない状態を6か月以上維持しているHIV陽性者(「Undetectable 検出限界値未満」)からは、性行為によってHIVが感染することがない(「Untransmittable HIV感染しない」)ということを知りやすくなるための略称です。

「U=U」という言葉をきっかけに、もう一度エイズのことを考えてみましょう

世界エイズデーについての詳細は、「API-Net エイズ予防情報ネット」をご覧ください。
<https://api-net.jfa.or.jp/index.html>

◆HIV/AIDSとは

- AIDS(エイズ: 後天性免疫不全症候群)はHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染によって引き起こされる病気の総称です。
- HIVは主に性行為で感染します
 - 性感染症増加の要因として、性行動の多様化・低年齢化や、性感染症に対する知識・認識不足があります。
 - 性感染症は自覚症状がなかったり、症状が軽いことがあります。
 - 気付かないうちに、感染し、進行している
 - 知らないうちに、他の人に感染させてしまう
 - 性行為のときは、必ずコンドームを正しく使用することが効果的かつ容易な予防方法です。
 - 早期発見、早期治療により、AIDS(後天性免疫不全症候群)発症を抑えることが可能です。



保健所ではHIV/AIDSに関する相談・検査**無料・匿名**で行っています。
詳細は、保健所までお問い合わせください。

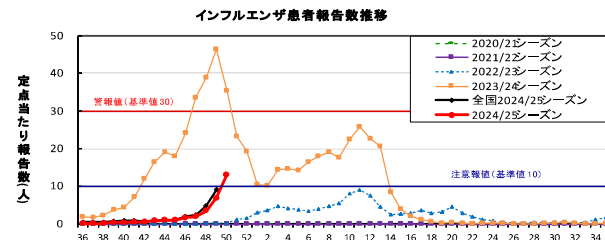
- ◆検査は**事前予約が必要**です。
- ◆県内の保健所では検査のWeb予約が可能です。
- ◆詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

インフルエンザ注意報発令!

◆県内の最新の流行状況 2024年第50週 (12月9日~12月15日)

- ・県全体で1医療機関当たりの患者報告数が13.02で、注意報値(基準値10)を上回り、県内でインフルエンザ注意報が発令されました。
- ・地域別では、利根沼田地域(31.33)、渋川地域(19.17)、桐生地域(18.13)などから多くの報告がありました。
※()内: 定点当たり報告数(人)、1医療機関当たりの患者報告数のこと。
- ・定点医療機関からの報告では、A型が流行しています。
- ・インフルエンザ様疾患による学校の臨時休業(学級閉鎖等)は10月以降報告が続いています。



◆かからないためには?

- ・帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。
- ・できるだけ人混みを避けましょう。
- ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- ・こまめに換気をしましょう

◆うつさないためには?

- ・くしゃみや咳が出るときは咳エチケットを心がけましょう。
 - ・マスクをつける
 - ・鼻と口をティッシュペーパーで覆う
 - ・袖や上着の内側で覆う
 - ・マスクをしていても顔は人からそむける
- ・手で覆って咳やくしゃみをした場合は手を洗いましょう

★県内のインフルエンザの詳細情報はこちら <https://www.pref.gunma.jp/page/3297.html>

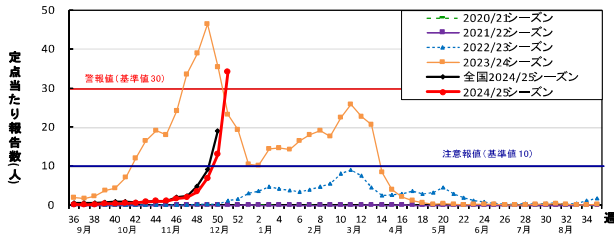
*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染症センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

インフルエンザ警報発令!

◆ 県内の最新の流行状況 2024年第51週(12月16日~12月22日)

- 県全体で1医療機関当たりの患者報告数が34.18で、警報値(基準値30)を上回り、県内でインフルエンザ警報が発令されました。
- 地域別では、富岡地域(63.67)、利根沼田地域(60.67)、藤岡地域(38.67)などから多くの報告がありました。
※ ()内: 定点当たり報告数(人)、1医療機関当たりの患者報告数のこと。
- 定点医療機関からの報告では、A型が流行しています。
- インフルエンザ様疾患による学校の臨時休業(学級閉鎖等)も急増しています。

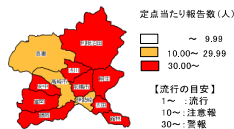
インフルエンザ患者報告数推移



◆ かからないためには?

- 帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。
- できるだけ人混みを避けましょう。
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。
- こまめに換気をしましょう。

地域別報告状況(2024年第51週現在)



◆ うつさないためには?

- くしゃみや咳が出るときは咳エチケットを心がけましょう。
 - ・ マスクをつける
 - ・ 鼻と口をティッシュペーパーで覆う
 - ・ 袖や上着の内側で覆う
 - ・ マスクをしていても顔は人からそむける
- 手で覆って咳やくしゃみをした場合は手を洗いましょう

★ 県内のインフルエンザの詳細情報はこちら <https://www.pref.gunma.jp/page/3297.html>

* この情報に関する問い合わせ先: 群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigy-c@pref.gunma.lg.jp